

# 1 - (2). 外部の研修機関・研修会への運転者等の派遣 (3点又は1点)



<b>判断方針</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 自社（申請事業所）以外の外部の研修機関等が主催する交通事故防止に関する研修に、運転者等を派遣していることを判断します。</li> <li>◆ 研修とは、職務に対する理解を深め、習熟するために学習することを指します。</li> </ul>
<b>判断基準</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 過去1年間（2025年7月2日～2026年7月1日）において、1回以上実施した状況が確認できれば加点の対象とします。</li> <li>◆ 配点3点のうち、下記基準により3点又は1点付与とします。</li> </ul> <p><b>【3点付与とするもの】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 選任運転者が研修会を受講。ただし、下記については管理者等が受講した場合も3点付与とする。             <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国土交通省が認定した運輸安全マネジメント認定セミナー</li> <li>○ 全日本トラック協会が実施する事故防止セミナー（プラン2025目標達成フルセミナー、過労死等防止対策セミナー）</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【1点付与とするもの】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 選任運転者以外の従業員（運転者を指導する管理職相当の者を含む。）が研修を受講した場合。（【3点付与とするもの】を除く。）</li> <li>※ 1点付与となるセミナーを3種類以上添付しても3点付与とはなりません。</li> </ul>
<b>具体的内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 外部機関が主催した研修を対象とします。なお、カリキュラム等により外部機関の研修内容であるかを判断しますので、具体的な研修内容がわかる資料をご提出下さい。（外部機関及び研修内容が明らかでない資料は無効）</li> </ul> <p><b>【外部機関の具体例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 警察署</li> <li>○ 労働基準監督署</li> <li>○ トラック協会</li> <li>○ トラック交通共済協同組合</li> <li>○ 安全運転中央研修所</li> <li>○ 埼玉県トラック総合教育センター</li> <li>○ 中部トラック総合研修センター</li> <li>○ 陸上貨物運送事業労働災害防止協会（陸災防）</li> <li>○ 民間会社の研修施設・ドライビングスクール等</li> <li>○ 損害保険会社・ディーラー・タイヤメーカー等民間会社 等</li> </ul> <p>※ 研修機関が本社グループ内のものであっても、対外的に開放された研修機関となっている場合は、外部機関とみなします。</p> <p>※ 自社のみに向けた研修・セミナー等を除く。</p> <p><b>【研修内容の具体例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安全運転研修</li> <li>○ 省エネ運転講習</li> <li>○ 事故防止講習</li> <li>○ タイヤ特性講習</li> <li>○ 運転者技能研修</li> <li>○ 点検整備講習</li> <li>○ 運輸安全マネジメントセミナー</li> </ul>

### 【特例】選任運転者以外が受講して3点加点となる研修会等

- 国土交通省が認定した運輸安全マネジメント認定セミナー（国交省のHPで確認してください。）
- ※ 提出資料②の研修資料不要（リモートのものについては、別途「オンライン研修実施記録」を添付してください）



参考 国土交通省運輸安全マネジメントセミナー（2026年4月現在）

<https://www.mlit.go.jp/unyuanzen/certif.html>

※ 上記 URL のページに掲載されている下表のセミナー全てを対象とします。

対象	認定セミナー	国が開催する「運輸安全マネジメントセミナー」
	主に中小規模の自動車運送事業者	すべての運輸事業者（自動車・鉄道・海運・航空）
種類	①ガイドライン ②リスク管理（基礎） ③リスク管理（上級） ④内部監査（基礎） ⑤内部監査（上級） ⑥防災マネジメントセミナー ⑦リスク感受性向上セミナー	①ガイドライン ②リスク管理 ③内部監査 ④防災マネジメントセミナー ⑤リスク感受性向上セミナー
特徴	ワークショップなどを取り入れ、中小規模の事業者がより取り組みやすい内容としている。	すべての運輸事業者を対象とした広範な内容としている。

### <認定セミナー実施機関>

セミナーの認定を受けた者	セミナーの種類	連絡先
一般財団法人日本品質保証機構	ガイドライン 内部監査（基礎） リスク管理（基礎） 防災マネジメントセミナー リスク感受性向上セミナー	マネジメントシステム部門 TEL: 03-4560-5720（担当：奥村）
東京海上日動火災保険株式会社	ガイドライン	運輸・モビリティ本部 TEL: 03-5288-6586（担当：亀井）
S.O.M.P.O.リスクマネジメント株式会社	ガイドライン 内部監査（基礎） リスク管理（基礎） 防災マネジメントセミナー	モビリティコンサルティング部 TEL: 03-3349-5435（担当：土田）
M.S.&A.D.インターリスク総研株式会社	ガイドライン リスク管理（基礎） 防災マネジメントセミナー	リスクマネジメント第二部 TEL: 03-5296-8915（担当：松尾）
一般財団法人日本海事検定協会	ガイドライン 内部監査（基礎）	審査評価チーム TEL: 045-201-2843（担当：斎藤）
独立行政法人自動車事故対策機構	ガイドライン 内部監査（基礎） リスク管理（基礎） 防災マネジメントセミナー リスク感受性向上セミナー	本部 安マネ・ISO・評価グループ TEL: 03-5608-7610（担当：三好）
一般財団法人近畿地産協会	ガイドライン リスク管理（基礎）	TSD運輸安全マネジメント支援センター TEL: 06-6948-6663（担当：若林）
豊井産業株式会社	ガイドライン	豊井交通教育センター TEL: 022-236-9613（担当：奥山）

- 全日本トラック協会が実施するセミナー
  - ①プラン2025目標達成【フル】セミナー
  - ②過労死等防止対策セミナー

※以下のセミナーは管理者等（選任運転者以外）は1点となります。

- ・プラン2025目標達成【出前】セミナー
- ・健康管理セミナー

## 提出書類

以下の①及び②を両方とも提出してください。

### ① 研修に派遣したことが確認できる書類（以下の (a) または (b) のいずれかを添付してください）

- (a) 受講証明書、修了証など、研修機関等から発行された研修会の受講を証する書類
- (b) 研修実施記録や研修報告書など、自社で作成した研修に派遣したことがわかる書類

#### ●確認内容

- (ア) 研修名
- (イ) 開催年月日
- (ウ) 開催場所
- (エ) 主催者名（研修機関等）
- (オ) 受講者の氏名（役職員名簿と照会します。カラーマーカーで印をつける）
- (カ) 研修内容（資料には交通事故防止等、下記の【研修の具体例】の内容が含まれていること）

申込書や計画書等のみでは受講したことの確認が取れないため加点の対象とはなりません。

#### 研修実施記録（例）

研修実施記録	
研修名	●●●セミナー
開催年月日	令和●年●月●日
開催場所	●●県トラック協会
主催者名	●●県トラック協会
受講者氏名	新宿 太郎
研修内容	イメージ

(カ) 具体的な研修教育の内容  
※どんな研修を行ったかわかるように記入。（交通事故防止等【研修内容の具体例】に関する内容が含まれていること。）

※受講証明書・修了証等が発行されない、または資料配布がない場合は、(b)を提出してください。（記載の研修内容を元に、具体的な交通事故防止の内容を確認します）

※「オンライン研修」の場合は、(b)の他に「オンライン研修実施記録」が必要です（P.35参照）。

## ●オンライン研修の研修実施記録

オンラインによる研修を受講した場合は、「オンライン研修実施記録（※）」を必ず（b）と合わせて提出してください。添付がない場合、加点の対象となりません。

※全日本トラック協会・書式等ダウンロードページから参考書式を入手できます。

オンライン研修実施記録の参考書式（例）

○○○○○研修実施記録  
○○○○○○○主催

I. 研修の受講  
日時： 2020年 ○月 ○日（○） ○○:○○~○○:○○  
場所： ○○○○会議室

II. 受講者  
○○○○

III. 研修概要

1. 【研修項目1を記載】 例：交通事故の現状について  
【研修項目1の概要を記載 ※項目名に加えて研修内容の概要を記載】

2. 【研修項目2を記載】 例：交通事故防止の対策について  
【研修項目2概要を記載 ※項目名に加えて研修内容の概要を記載】

3. 【研修項目3を記載】 例：今後の交通事故防止について  
【研修項目3概要を記載 ※項目名に加えて研修内容の概要を記載】

【研修項目が3以上の場合は追加して下さい】

IV. 研修を受講した感想  
○○○○○○○○○

← 研修を主催した研修機関等の記載があること

← 対象期間内であるか確認するため、必ず「年月日」の記載があること

← 受講者「氏名」  
※カラーマーカーをつけ、役職員名簿にチェック

← 具体的な研修内容を記入  
どんな研修を行ったかわかるように記入すること

← 受講者の感想を必ず記載すること

## ② 研修資料

「交通事故防止」に関する具体的な内容を確認できる、実際の研修資料・カリキュラム等を添付してください。  
※資料については、交通事故防止の部分を抜粋して添付しても構いませんが、開催年月日、開催場所がわかる部分を必ず添付してください。

※ P.33、34 の【特例】の研修については提出不要です。

### <当日の配布資料がなかった場合>

提出資料①において、「(a) 受講証明書・修了証等」の他、「(b) 研修実施記録・報告書」にて、具体的な研修内容を記載してください。

また、研修のカリキュラム等、概要がわかるもの（申込書や次第、レジメ等でも可）を添付してください。

## 対象外

- 参加者が申請事業所（営業所）やグループ会社に限定された研修のほか、自社やグループ会社が主催の以下のような研修（グループ1－(1)で評価対象）
  - ・外部機関に委託した自社やグループ会社が主催の研修
  - ・外部講師を招いた自社やグループ会社が主催の研修
  - ・外部の会場を借りて開催した研修会
- 荷物の事故やお客様トラブルに関する研修
- 積み付け、固縛時の事故や労働災害に関する研修
- 客先、物流施設、駐車場、車庫などにおける事故、フォークリフト、クレーン等の研修
- 各種法令等により受講義務のある研修（危険物、労働安全衛生法省令に基づくもの等）
- 運行管理者講習（一般・基礎）、整備管理者研修（選任前・選任後）、ドライバーコンテスト等競技会
- 事故惹起運転者、初任運転者、高齢運転者に対して行う特別な講習
- eラーニングによる研修は、グループ1－(1)で評価対象とします。
- 受講状況の一覧や、受講日の一覧のみが添付されている場合